



BS/BF10WT

BS/BF15WT

取扱説明書

安全のために必ずお読みください

本書をお読みいただき正しい方法でご使用ください。誤った使用方法による危険を表すものとして下記の表示を使用しています。

	警告	誤った取り扱いをした場合に死亡や重傷などの重大な結果を伴う可能性があることを表します。
	注意	誤った取り扱いをした場合に軽傷を負うか、物的な損害が生じる可能性があることを表します。

記号の説明

	注意を促すことを表します。
	してはいけないこと（禁止）を表します。



警告

万一異常が発生した場合は直ちに使用を止め、ACアダプター、または電源プラグを抜いて機器を安全な場所へ移動してください。異常があるまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	斜面や不安定な場所に置かないでください。また壁面に設置する場合は確実に固定してください。落下などにより怪我の原因となります。壁面への設置方法は設置器具のマニュアルに従ってください。
	異常な発熱がある場合や、煙を発した場合、また不自然な臭いを感じた場合は、直ちに AC アダプターをコンセントから抜いて使用を中止してください。
	破損した Micro SD カードや外部機器を本機に接続しないでください。本機の故障の原因になるだけでなく、火災や感電の原因となる場合があります。
	水に濡れた場合や内部に異物が入った場合は AC アダプターをコンセントから抜いてください。
	AC アダプターのケーブルに重いものを乗せたり、折り曲げたまま力を加えたり、強く引っ張ったりしないでください。ケーブルの断線が生じ、火災や感電の原因となります。
	裏蓋を外すなどの分解、独自の修理、改造などを行わないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
	屋外や浴室など水がかかるおそれがある場所では使用しないでください。
	ディスプレイが破損し液晶が漏れ出した場合は、液晶が口に入らないようにしてください。飲み込むと中毒を起こす場合があります。万一口や目に入ってしまった場合は水でゆすぎ、医師にご相談ください。



注意

注意事項をよくお読みください。誤った設置方法や取り扱いによって機器に故障が生じ、火災、感電の原因となる場合があります。

	本機は屋内での使用を前提としております。屋外では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
	ご使用の際は直射日光が当たる場所を避け、暖房器具などの熱を発するもの、火気のそばには置かないでください。
	本体背面部にあるスリット状の通気口を布やテープ、その他で塞がないでください。通気口を塞ぐと本体の温度が上がり故障の原因となります。
	本機は車載用に設計されたものではありません。継続的な振動を受け続けると故障の原因となる場合があります。
	本機を密閉された狭い場所には設置しないでください。また通気のある場所に設置してください。密閉された通気のない場所で使用すると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	高温、湿度の高い場所、温度変化の大きい場所、または湯気、油煙にさらされる場所には設置しないでください。故障の原因となります。また結露したまま使用しないでください。
	コンセントを抜く場合は AC アダプターをしっかりと持って抜いてください。ケーブル部を引っ張って抜かないでください。
	AC アダプターはコンセントにしっかりと奥まで接続してください。
	AC アダプターが抜けかけた状態で使用しないでください。コンセントから抜けかかった状態で使用すると火災、感電の原因となる場合があります。
	本機のディスプレイ部はタッチパネルディスプレイとなっています。タッチパネル部分をペン先などの尖ったもので突いたり、強く叩いたりしないでください。破損の原因となります。

ご案内

タッチパネルのお手入れ

タッチパネルの表面が汚れた場合は、よく乾いた柔らかくきれいな布で拭いてください。汚れた布を使用して拭く、強くこするなどするとパネルを傷つける場合があります。

ドット抜け

液晶ディスプレイは精密な技術を使用して製造されておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが生じる場合があります。ドット抜けと呼ばれることもあります。これは液晶ディスプレイの特性によって生じるものであり、故障ではありません。返品や交換をお受けすることはできませんので予めご了承ください。

目次

1 はじめに	6
2 同梱品	6
3 各部の名称	7
3-1 BS/BF10WT (10.1 インチモデル)	7
3-2 BS/BF15WT (15.6 インチモデル)	11
4 本機の仕組み	15
5 BrightSign OS のアップデート	16
5-1 OS バージョンの確認	16
5-2 最新バージョン OS のダウンロード	16
5-3 OS のアップデート手順	16
6 BrightAuthor	17
6-1 BrightAuthor のインストール	17
6-2 BrightAuthor 設定のポイント	18
7 セットアップ	19
7-1 セットアップが必要ないケース	19
7-2 設定ファイルによるセットアップ	19
7-3 BrightSign Device Setup によるセットアップ	24

8 OSD (ディスプレイ設定メニュー)	38
8-1 PICTURE メニュー.....	38
8-2 OPTION メニュー	39
9 製品仕様.....	40

1 はじめに

本機は、デジタルサイネージプレーヤー『BrightSign』の機能を内蔵した 10.1（または 15.6）インチのタッチパネルディスプレイです。HD3 相当のパフォーマンスで USB 機器、GPIO※による制御、シリアルコマンドの送受信に対応し、WiFi/Beacon モジュールを標準で搭載、ステレオスピーカーを内蔵します。本機はタッチパネルディスプレイと BrightSign で構成されています。本書では、ディスプレイ部の操作、設定に関する説明は ディスプレイ と表記し、BrightSign 部の操作、設定に関する説明は BrightSign と表記して区別します。

※本機の GPIO ポートは STB（セットトップボックス）型の BrightSign とは異なり 6 ピン仕様です。

接点は入力と出力を合わせて 4 点まで使用することができます。

2 同梱品

本製品には下記が同梱されております。はじめに同梱品をご確認ください。

- | | |
|------------------------------|-----|
| ・ BS/BF10WT（または BS/BF15WT）本体 | 1 台 |
| ・ AC アダプター | 1 個 |
| ・ Micro SD カードスロットカバー ※ | 1 個 |
| ・ WiFi アンテナ ※ | 1 個 |

※Micro SD カードスロットカバー、WiFi アンテナは本体に取り付けられた状態で出荷されます。

<Micro SD カードスロットカバーの取り外し・取り付け>

Micro SD カードを接続する際は Micro SD カードスロットカバーを取り外す必要があります。Micro SD カードはラベルを上にしてスロットの奥まで差し込みます。Micro SD カードを取り外す際はカードを接続した状態でカードを押し込むとバネの力で排出されます。カバーを取り付ける際はカバーの突起部を本体の差込口に差し込み、ネジで固定します。（Micro SD カードスロットの位置は **3 各部の名称** を参照）



カバーを取り外した状態



カバーを取り付けた状態

<WiFi アンテナの取り外し・取り付け>

WiFi アンテナはアンテナの根本部分を持ち、反時計回りに回すと取り外すことができます。取り付ける際はアンテナコネクターに時計回りに接続します。(アンテナコネクターの位置は **3 各部の名称** を参照)



3 各部の名称

3-1 BS/BF10WT (10.1 インチモデル)

<本体上面>



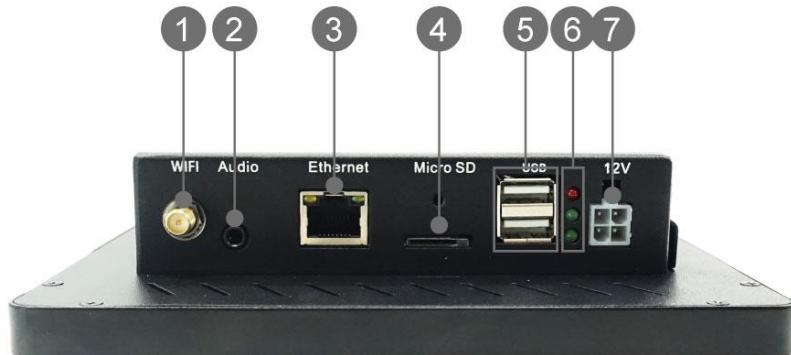
①スピーカー	3W (1.5W + 1.5W) のステレオスピーカーです。
--------	--------------------------------

<本体下面>



①LED/Update	使用しません。
②SVC	BrightSign の初期化などを行う際に使用します。ペン先などで押します。
③RST	リセットスイッチです。ペン先などで押すと BrightSign が再起動します。
④GPIO	GPIO ポート（6 ピン）です。入出力合わせて 4 点までの接点として使用できます。ボタンスイッチや LED などを接続することができます。
⑤SER	ミニピンジャック形状のシリアルポートです。オプションケーブル（型番：BR/RS232C-015ML）で DA15 形状に変換することができます。
⑥IR	国内では使用しません。

<本体右側面>



①WiFi	付属の WiFi アンテナを接続します。
②Audio	3.5mm ステレオミニピンジャック出力端子です。スピーカー等の音響機器を接続します。
③Ethernet	PoE 対応 1000BASE-T の有線 LAN ポートです。
④Micro SD	Micro SD カードスロットです。
⑤USB x2	USB 接続のマウス、キーボードなどを接続することができます。
⑥ステータスランプ	Error LED (上) : エラーを表します。対応しないファイルを読み込ませるなどした場合に赤く点灯、点滅します。 Power LED (中) : BrightSign に電源が入ると緑色に点灯します。 Busy LED (下) : BrightSign が Micro SD カードを読み込んでいる際に緑色に点灯、点滅します。
⑦12V	電源コネクターです。付属の AC アダプターを接続します。

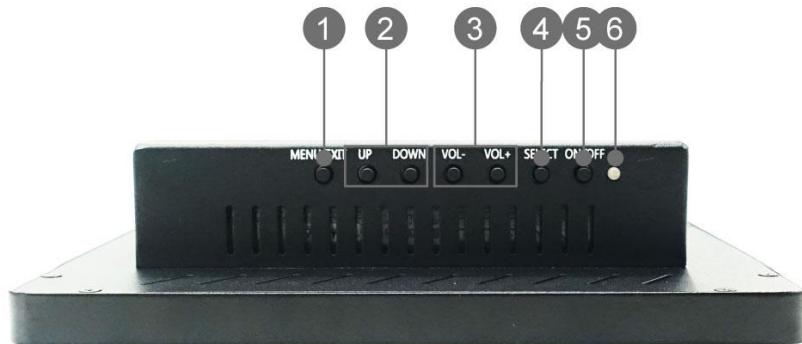


Micro SD カードスロットに Micro SD カードを接続する際は、本機に対して真っ直ぐに、確実に接続してください。斜めに接続すると Micro SD カードが正しく接続できない場合や破損の恐れがあります。



Micro SD カードを取り出す際にバネの力で大きく飛び出してくる場合があります。目などに当たると怪我をする恐れがありますので Micro SD カードスロットを正面から覗き込まないでください。

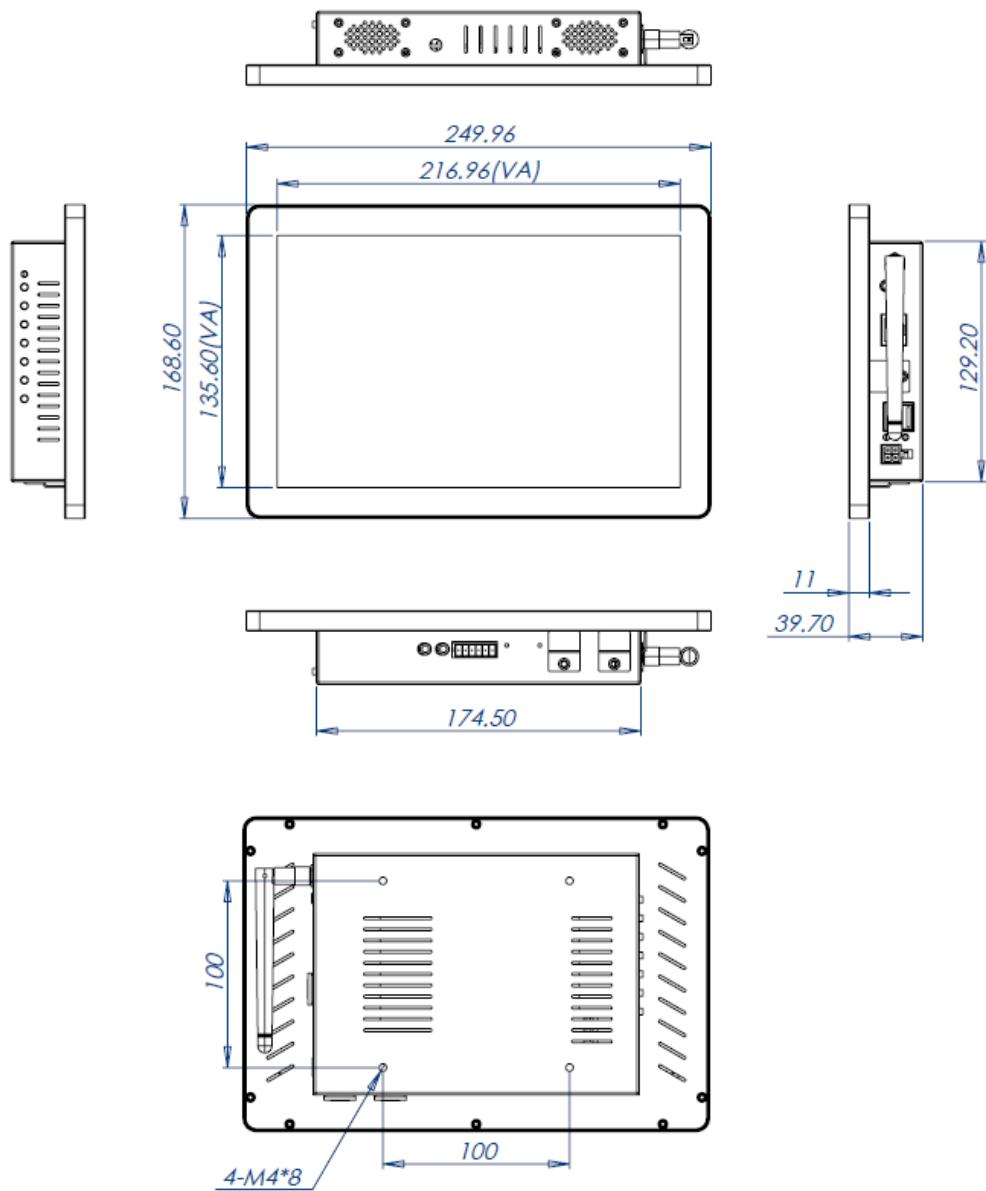
<本体左側面>



①MENU/EXIT	OSD (On Screen Display=ディスプレイ設定メニュー) ※の表示、非表示に使用します。また OSD の操作中は 1 つ前の項目に戻ります。4 回連続で押すと OSD を表示、OSD 表示中に 1 回押すと OSD を非表示にします。 (OSD を非表示にした後、再度、OSD を表示する際は、非表示にした後、5 秒以上の間をあける必要があります。)
②UP/DOWN	OSD による設定の際に、項目の選択に使用します。UP で上の項目に、DOWN で下の項目に移動します。
③VOL-/VOL+	ボリュームの上げ下げ、OSD のメニューの選択に使用します。OSD 非表示の状態で VOL-を押すとボリュームが下がり、VOL+を押すとボリュームが上がります。OSD 表示中は VOL-で左の項目に、VOL+で右に移動します。
④SELECT	OSD による設定の際に、選択を決定する場合に押します。
⑤ON/OFF	<u>ディスプレイ</u> の電源を ON/OFF します。OFF にしても <u>BrightSign</u> の電源は OFF にはなりません。
⑥LED	通電があると緑色に点灯します。 <u>ディスプレイ</u> を OFF にしている際に ON/OFF ボタンを押すと、短い時間、赤く点灯した後、緑色に戻ります。

※OSD の設定項目の詳細は **7 OSD (ディスプレイ設定メニュー)** 参照

<図面>



※BS/BF10WT (10.1 インチモデル) は VESA 100x100 ピッチマウントに対応します。

3-2 BS/BF15WT (15.6 インチモデル)

<本体背面>



①スピーカー 3W (1.5W + 1.5W) のステレオスピーカーです。

<本体下面>



①LED/Update	使用しません。
②SVC	<u>BrightSign</u> の初期化などを行う際に使用します。ペン先などで押します。
③RST	リセットスイッチです。ペン先などで押すと <u>BrightSign</u> が再起動します。
④GPIO	GPIO ポート (6 ピン) です。入出力合わせて 4 点までの接点として使用できます。ボタンスイッチや LED などを接続することができます。
⑤SER	ミニピンジャック形状のシリアルポートです。オプションケーブル (型番: BR/RS232C-015ML) で DA15 形状に変換することができます。
⑥IR	国内では使用しません。

<本体右側面>



①WiFi	付属の WiFi アンテナを接続します。
②Audio	3.5mm ステレオミニピンジャック出力端子です。スピーカー等の音響機器を接続します。
③Ethernet	PoE 対応 1000BASE-T の有線 LAN ポートです。
④Micro SD	Micro SD カードスロットです。
⑤USB x2	USB 接続のマウス、キーボードなどを接続することができます。
⑥ステータスランプ	Error LED (上) : エラーを表します。対応しないファイルを読み込ませるなどした場合に赤く点灯、点滅します。 Power LED (中) : BrightSign に電源が入ると緑色に点灯します。 Busy LED (下) : BrightSign が Micro SD カードを読み込んでいる際に緑色に点灯、点滅します。
⑦12V	電源コネクターです。付属の AC アダプターを接続します。



Micro SD カードスロットに Micro SD カードを接続する際は、本機に対して真っ直ぐに、確実に接続してください。斜めに接続すると Micro SD カードが正しく接続できない場合や破損の恐れがあります。



Micro SD カードを取り出す際にバネの力で大きく飛び出してくる場合があります。目などに当たると怪我をする恐れがありますので Micro SD カードスロットを正面から覗き込まないでください。

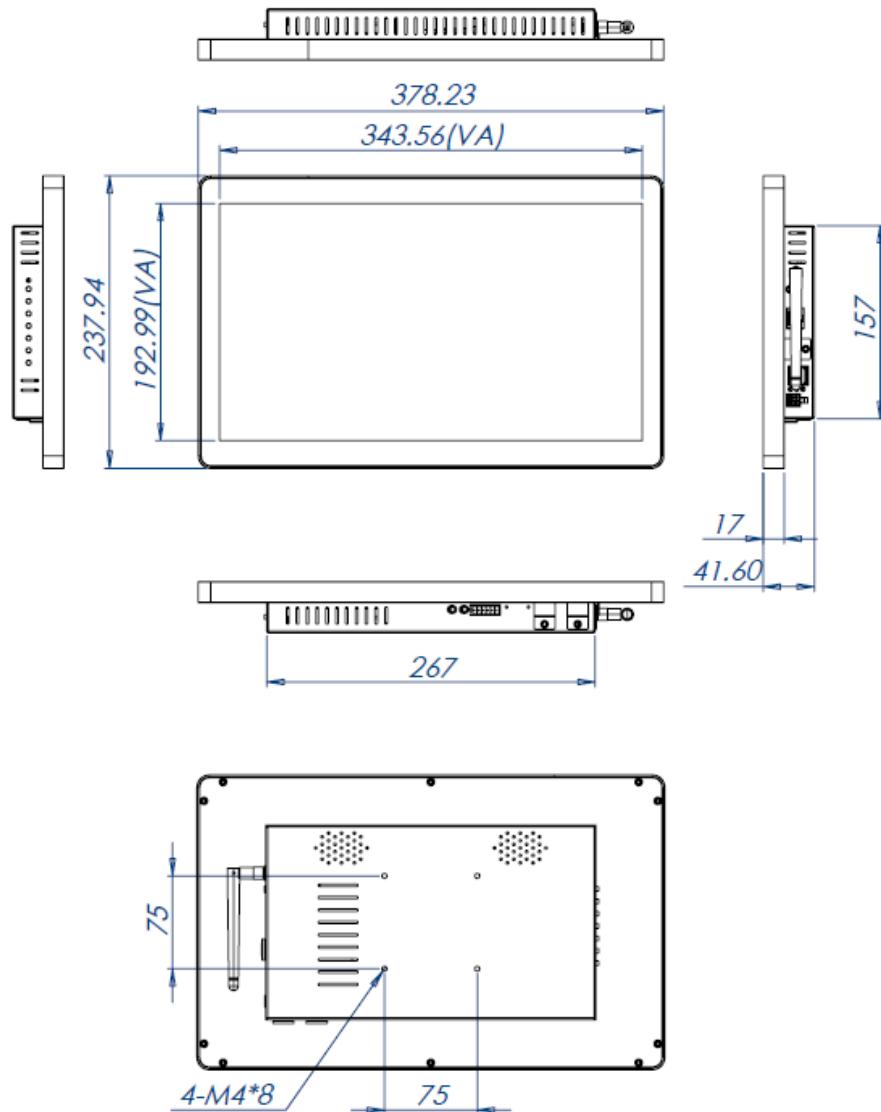
<本体左側面>



①MENU/EXIT	OSD (On Screen Display=ディスプレイ設定メニュー) ※の表示、非表示に使用します。また OSD の操作中は 1 つ前の項目に戻ります。4 回連続で押すと OSD を表示し、OSD 表示中に 1 回押すと OSD を非表示にします。 (OSD を非表示にした後、再度、OSD を表示する際は、非表示にした後、5 秒以上の間をあける必要があります。)
②UP/DOWN	OSD による設定の際に、項目の選択に使用します。UP で上の項目に、DOWN で下の項目に移動します。
③VOL-/VOL+	ボリュームの上げ下げ、OSD のメニューの選択に使用します。OSD 非表示の状態で VOL-を押すとボリュームが下がり、VOL+を押すとボリュームが上がります。OSD 表示中は VOL-で左の項目に、VOL+で右に移動します。
④SELECT	OSD による設定の際に、選択を決定する場合に押します。
⑤ON/OFF	<u>ディスプレイ</u> の電源を ON/OFF します。OFF にしても <u>BrightSign</u> の電源は OFF にはなりません。
⑥LED	通電があると緑色に点灯します。 <u>ディスプレイ</u> を OFF にしている際に ON/OFF ボタンを押すと、短い時間、赤く点灯した後、緑色に戻ります。

※OSD の設定項目の詳細は **7 OSD (ディスプレイ設定メニュー)** 参照

<図面>

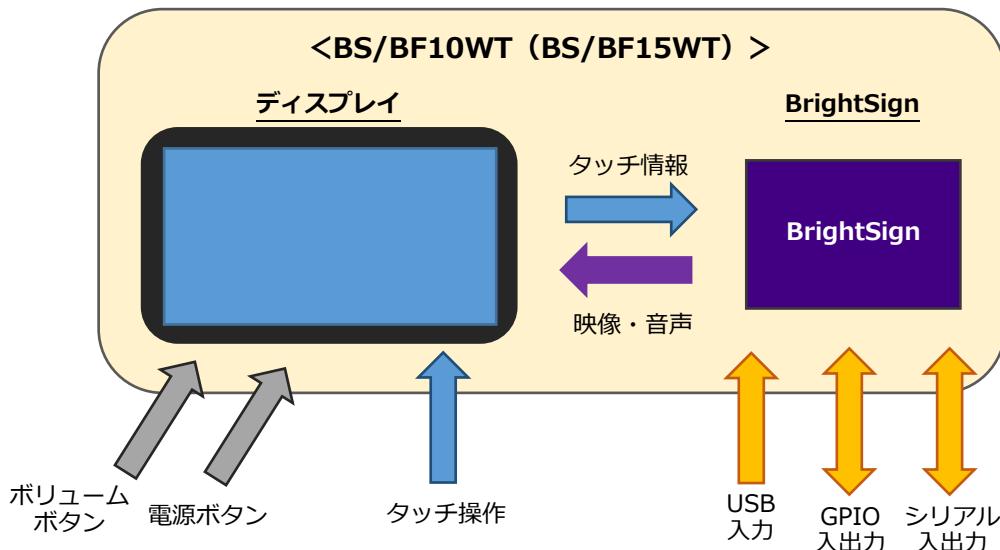


※BS/BF15WT (15.6 インチモデル) は VESA 75x75 ピッチマウントに対応します。

4 本機の仕組み

本機はサイネージの処理を行う BrightSign と映像の表示を行う ディスプレイ で構成されており、一部の操作、動作については BrightSign と ディスプレイ が連動しません。例えば本機の電源ボタン（ON/OFF ボタン）は ディスプレイ の電源の ON/OFF のみを行い、電源ボタンを押しても BrightSign の電源は ON/OFFされません※。下記の図は、本機の構造、動作の連動を示したものです。

※BrightSign の電源は通電がある限り常に ON の状態になります。



電源ボタンは ディスプレイ の電源のみを ON/OFF します。ディスプレイ のタッチパネルへのタッチ操作は BrightSign にトリガーとして送られ、BrightSign の制御に使用することができますが、BrightSign に入力された外部トリガー（USB、GPIO、シリアル等）は BrightSign の制御にのみ使用することができます。シリアルコマンドで ディスプレイ の制御（電源の ON/OFF 等）を行うことはできません。GPIO、シリアルは出力に使用することも可能で、LED の点灯、シリアルコマンドの送出が可能です。BrightSign が処理した結果が映像・音声情報として ディスプレイ に送られ、ディスプレイ に映像を表示し、スピーカーより音声を出力します。

5 BrightSign OS のアップデート

BrightSign は独自のオペレーティングシステム“BrightSign OS”で動作します。BrightSign OS のアップデートを行うことで新しい機能の追加や、特定の条件で発生する問題の修正を行う場合があります。また将来的に提供される新しいバージョンの BrightAuthor を使用する際に、BrightSign OS のアップデートが必須となる場合があります。開封後、本機を使用する前に必ず BrightSign OS を最新のバージョンにアップデートしてください。また出荷時より古いバージョンの OS で上書きしないでください。

5-1 OS バージョンの確認

BrightSign OS のバージョンは ディスプレイ に表示することができます。Micro SD カードを接続しない状態で AC アダプターを接続し、電源を入れると『BrightSign』のロゴの下にバージョンが表示されます。

(例) v6.2.147

5-2 最新バージョン OS のダウンロード

BrightSign 社の Web サイトより最新の BrightSign OS のアップデートファイルをダウンロードします。本機の場合は **BrightSign DSM (HS123)** 用のアップデートファイルをダウンロードします。

<https://www.brightsign.biz/downloads/overview>

5-3 OS のアップデート手順

1. ダウンロードしたファイルは圧縮 (zip) されているので解凍します。
2. 解凍した“brightsign_hs3_update_x.x.xxx”(x.x.xxx はバージョン名) “のような名前のフォルダーを開きます。
3. 開いたフォルダーの中に拡張子が.bsfw のファイル (BrightSign OS アップデートファイル) があるので Micro SD カードにコピーします。 (例) brightsign_hs3_update_x.x.xxx.bsfw
4. BrightSign OS アップデートファイルをコピーした Micro SD カードを本機に接続し、AC アダプターを接続して電源を入れます。
5. 電源を入れると、Pwr LED が点灯し、Bsy LED が点滅します。その後、Err LED が連続で点滅します。ディスプレイにはアップデート中であることを表す画面が表示されます。
6. Err LED の点滅が終わるとアップデートは完了です。アップデートは通常 3 分程度で終了します。
(アップデートする OS のバージョンにより、アップデートに要する時間が前後する場合があります。)
7. Micro SD カードを取り外し、RESET ボタンを押して再起動させます。(OS のバージョンによっては、アップデート完了後、自動的に再起動する場合があります。自動的に再起動した場合は、再起動後に SD カードを取り外します。)

6 BrightAuthor

『BrightAuthor (ブライトオーサー)』は [BrightSign](#) で「何」を「どのように」再生するのかを設定する専用オーサリングソフトウェアです。本書では BrightAuthor のインストール手順、プレゼンテーションを作成する際のポイント、BrightAuthor で書き出ししたファイルを再生させるためのセットアップについて説明するものとします。BrightAuthor の詳細については BrightAuthor のマニュアルを参照願います。

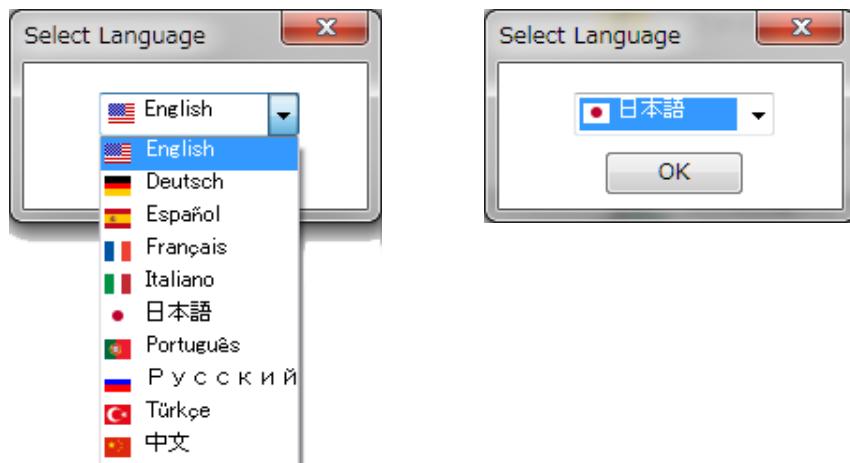
6-1 BrightAuthor のインストール

- 下記より BrightAuthor のインストーラーをダウンロードし、デスクトップなどに保存します。

<https://jmgs.jp/support/downloads/brightsign.html>

【BrightAuthor 動作環境】

- 2.3GHz 以上の CPU
 - 2GB 以上のメモリー（4GB 以上を推奨）
 - 100MB 以上のハードディスク空き容量（動画、静止画の素材やプレゼンテーションをコンピューターに保存する場合は、十分なディスクの空き容量が必要になります。）
 - 対応 OS : Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 10
(Net Framework 4.6 以降が必要です。)
- インストーラー“BrightAuthor.X.X.X.XX.setup.exe (X.X.X.XX はバージョン名)”をダブルクリックして起動します。Select Language でユーザーインターフェースの言語を選択します。日本語表示を使用するには日本語を選択して OK をクリックしてインストールします。
※インストーラーのファイル名 : BrightAuthor.X.X.X.XX.setup.exe (X.X.X.XX はバージョン名)



【BrightAuthor の使い方について】

本書では BrightAuthor を利用した BrightSign の初期設定について **7 セットアップ** で説明します。BrightAuthor の詳しい使い方は、「BrightAuthor のマニュアル」や「使い方ビデオ」を参照願います。

BrightAuthor マニュアル/動画

<https://jmgs.jp/support/downloads/brightsing.html>

6-2 BrightAuthor 設定のポイント

BrightAuthor でプレゼンテーションを作成する際は、本機の仕様に合わせた設定が必要です。

BrightSign のモデル名

新規プロジェクト作成の際、BrightSign モデルは **HS123** を選択します。

画面の解像度

BS/BF15WT (15.6 インチ・モデル) の場合は 1920x1080x60p を、BS/BF10WT (10.1 インチモデル) の場合は 1280x800x60p を選択します。BS/BF10WT は、1920x1200x60p、1920x1080x60p などの大きな解像度を選択した場合もスケーリングして表示することができますが、1920x1200 サイズの動画を再生することはできません。

音声出力の設定

ゾーンのプロパティのオーディオ出力の設定でアナログステレオにチェックを入れると、Audio (3.5mm ステレオミニピンジャック) から音声を出力します。HDMI にチェックを入れ、ステレオを選択すると、内蔵スピーカーから音声を出力します。アナログステレオ、HDMIの両方にチェックを入れると、Audio と内蔵スピーカーに同時に出力します。本機の VOL-/VOL+ボタンでは、内蔵スピーカーのボリュームのみ調整することができます。Audio 出力のボリュームを調整するには、BrightAuthor の設定でボリュームを変更するか、Audio に接続した音響機器側のボリュームを調整します。

7 セットアップ[¶]

BrightSign のプレゼンテーションをネットワーク経由で更新する場合は、**BrightSign** のセットアップが必要になります。以下の **7-2 設定ファイルによるセットアップ**、**7-3 BrightSign Device Setup** のいずれかの方法でセットアップを行います。

7-1 セットアップが必要ないケース

Micro SD カード（または USB メモリー）の差し替えによるプレゼンテーションの更新（スタンドアロン更新、ローカルストレージへの書き出し）を行う場合、通常はセットアップを行う必要がありません。BrightAuthor でプレゼンテーションを作成し、書き出ししたファイルを Micro SD カードにコピーして Micro SD カードスロットに接続します。本機に AC アダプターを接続し、AC アダプターをコンセントに接続して電源を入れます。本機が起動し、画面に BrightSign のロゴが表示された後、再生を開始します。

スタンドアロン更新の場合でも、ネットワークへの接続が必要な場合（タイムサーバーへのアクセス、HTML5 表示などを行う場合）はセットアップが必要です。

7-2 設定ファイルによるセットアップ[¶]

BrightAuthor で設定ファイルを作成し、設定ファイルを本機に読み込ませるセットアップ方法です。本書ではセットアップに必須となる項目について説明します。詳細については BrightAuthor のマニュアルを参照願います。

1. BrightAuthor を起動します。
2. ネットワーク更新の機能を有効にします。（一度、有効に設定すると、次回以降の設定は不要です。
確認が不要な場合は 3.へ進みます。）

ネットワーク更新機能の有効化

- ・編集タブを開いた状態でメニューの編集(E) > 環境設定(P)の順に開きます。
- ・ネットワーキングタブを開きます。
- ・使用する更新方法に応じて、下記の□にチェックを入れます。

BrightSign Network を有効にする

クラウドサービス『BrightSignNetwork.jp』を使用する場合は有効にします。

※BrightSignNetwork.jp は有料のクラウドサービスです。ご利用には別途契約が必要です。

BrightSignNetwork.jp を利用するには、弊社 Web サイトからダウンロードした BrightAuthor が必要です。BrightSign 社の Web サイトで公開されている BrightAuthor では利用できません。

BrightSign ローカルネットワーキングを有効にする

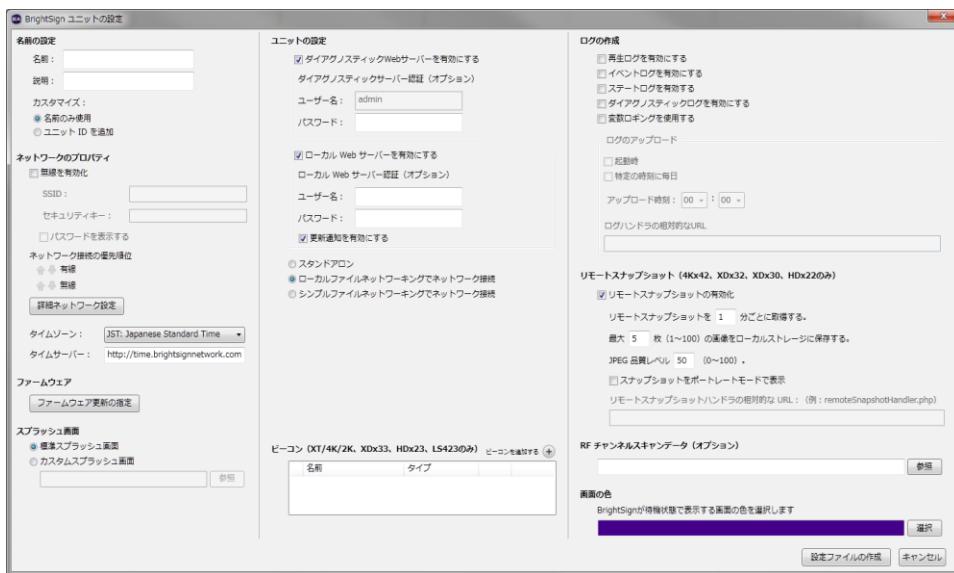
BrightAuthor をインストールしたパソコンと BrightSign を LAN (同一セグメントのネットワーク) に接続してプッシュ形式で更新を行う場合に選択します。

シンプルネットワーキングを有効にする

Web サーバー (Web フォルダー) を利用して更新を行う場合に有効にします。

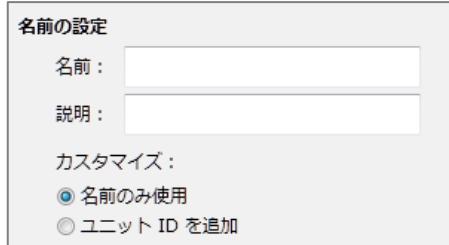
3. メニューのツール(T) > BrightSign ユニットの設定 の順に開きます。
4. BrightSign ユニットの設定 ウィンドウが開きます。設定項目を入力します。

<BrightSign ユニットの設定>



(1) 名前の設定

プレーヤーに名前を設定します。



名前 : プレーヤーを識別するために名前を設定します。英数字で設定します。

説明 : プレーヤーの説明を入力することができます。

カスタマイズ : 名前のみ使用にチェックを入れると設定した名前のみを表示し、ユニット ID を追加にチェックを入れると、設定した名前に続けてユニット ID (シリアル番号) を表示します。

(2) ネットワークのプロパティ

ネットワーク接続に関する設定を行います。



無線を有効化 : WiFi を使用する場合はチェックを入れ、SSID とセキュリティキーを入力します。

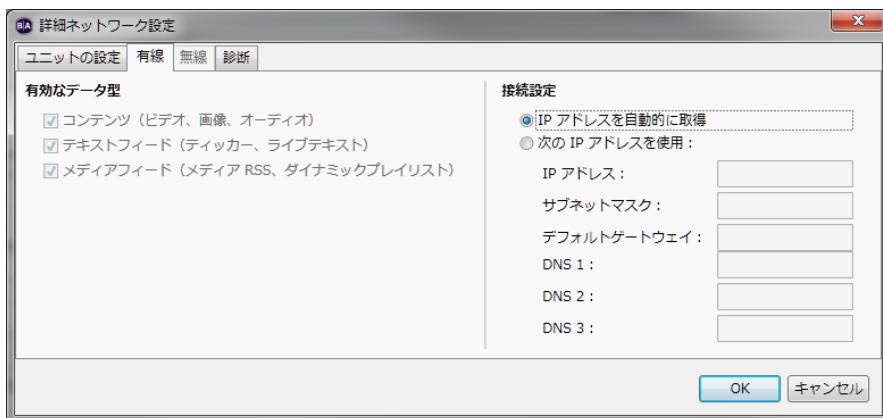
(パスワードを表示するにチェックを入れると入力したセキュリティキーが表示されます。)

ネットワーク接続の優先順位 : ↑ ↓をクリックして、有線 LAN、無線 LAN の優先順位を変更します。

詳細ネットワーク設定 : クリックすると詳細ネットワーク設定ウィンドウが開き、有線 LAN、無線 LAN の設定を行います。

有線タブ

有線 LAN に関する設定を行います。設定後は“OK”をクリックしてウィンドウを閉じます。



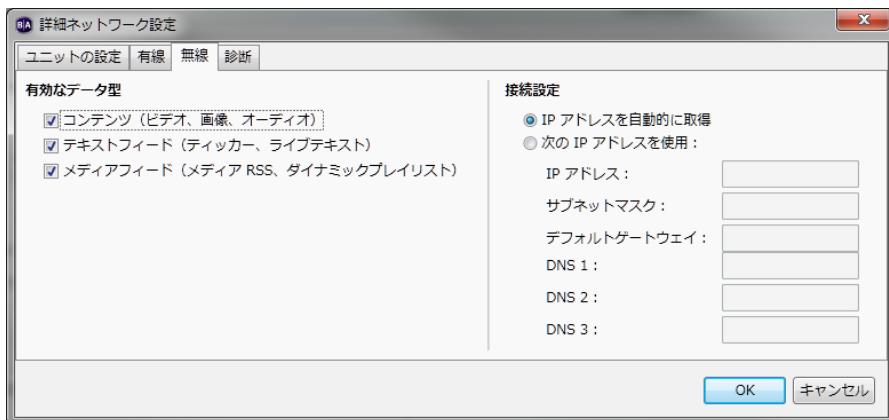
接続設定

IP アドレスを自動的に取得 : IP アドレスを自動取得する場合にチェックを入れます。

次の IP アドレスを使用 : IP アドレスをマニュアル設定する場合はチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS を入力します。

無線タブ

無線 LAN に関する設定を行います。 無線を有効化 のチェックボックスにチェックが入っていないと選択することができません。 設定後は“OK”をクリックしてウィンドウを閉じます。

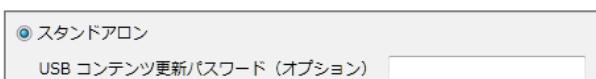


接続設定

- IP アドレスを自動的に取得**: IP アドレスを自動取得する場合にチェックを入れます。
- 次の IP アドレスを使用**: IP アドレスをマニュアル設定する場合はチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS を入力します。

(3) ユニットの設定

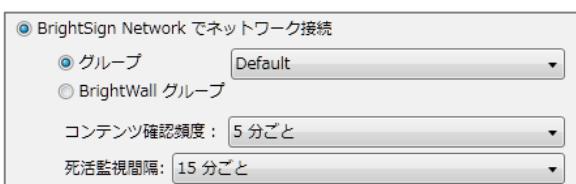
プレゼンテーションの更新方法に関する設定を行います。



スタンドアロン更新を行う場合に選択します。



LAN 経由の更新を行う場合に選択します。 BrightAuthor をインストールしたパソコンと BrightSign を LAN (同一セグメントのネットワーク) に接続してプッシュ形式で更新を行う場合に選択します。



クラウドサービス『BrightSignNetwork.jp』を使用して更新を行う場合に選択します。(クラウドサービスをご利用の場合は、別途ご契約が必要です。)

- グループ**：グループに加える場合はチェックを入れ、参加するグループを選択します。
- BrightWall グループ**：BrightWall を使用する場合はチェックを入れ、参加する BrightWall グループ、BrightWall 名、画面番号を選択します。
- コンテンツ確認頻度**：クラウドサーバーへのアクセス頻度を選択します。
【5分ごと、30分ごと、1時間ごと、6時間ごと、12時間ごと、24時間ごと】より選択します。
- 死活監視間隔**：死活監視を行う間隔を選択します。【5分ごと、15分ごと、30分ごと、1時間ごと、6時間ごと、12時間ごと、24時間ごと】より選択します。



シンプルファイルネットワーキングで接続は、Web フォルダーを利用して更新する場合にチェックを入れます。インターネットを介した更新も可能です。書き出したしたファイルを Web フォルダーにアップロードし、BrightSign を Web フォルダーにアクセスさせて更新を行います。

- Web フォルダの URL**：アクセスさせる Web フォルダーのアドレスを入力します。
- コンテンツ確認頻度**：Web フォルダーにアクセスしてコンテンツの更新を確認する頻度を選択します。
【5分ごと、30分ごと、1時間ごと、6時間ごと、12時間ごと、24時間ごと】より選択します。
- シンプルファイルネットワーク認証（オプション）**：ダイジェスト認証が必要な場合は、ユーザー名、パスワードを入力します。
- ベーシック認証を有効にする**：チェックを入れるとベーシック認証を有効にします。セキュリティで保護されていないパケットで認証情報を渡すため、このオプションはサーバーの構成によって使用が必須になる場合のみ使用します。

設定ファイルの作成

クリックして保存先を指定し、設定ファイルを作成します。

5. 作成した設定ファイルを Micro SD カードにコピーして本機に接続します。AC アダプターを接続し、電源を入れると設定ファイルを自動的に読み込み、ネットワーク更新の待受状態になります。

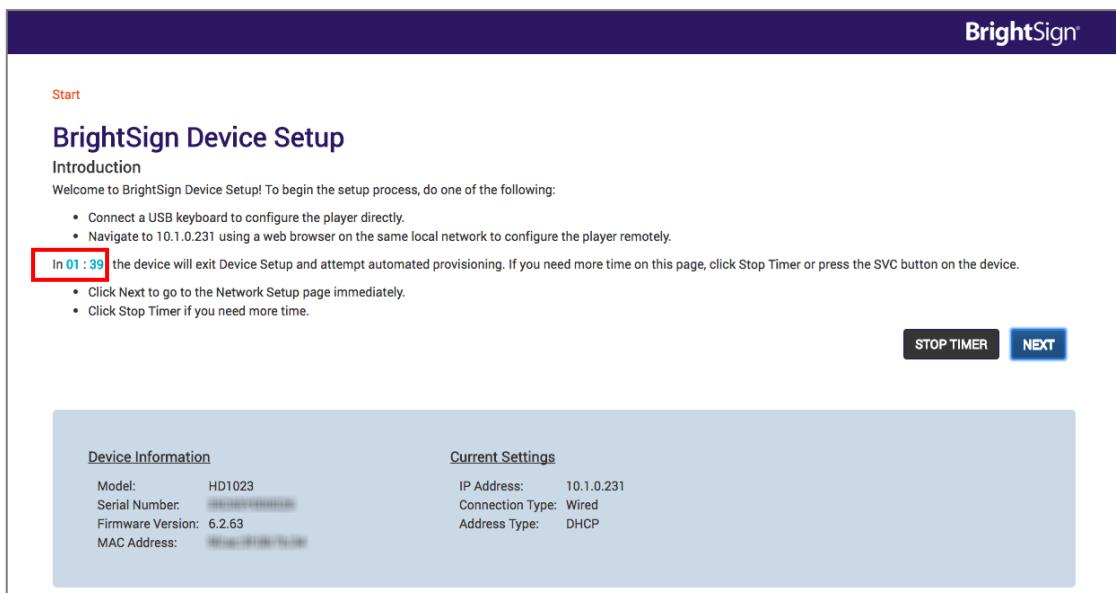
7-3 BrightSign Device Setup によるセットアップ

本機の ディスプレイにセットアップメニューを表示して設定を行います。セットアップのためには USB キーボードが必要になります。電源を入れる前に USB ポートに USB キーボードを接続します。

1. データが書かれていらない空の Micro SD カードを本機に接続します。
2. 本機に AC アダプターを接続し、AC アダプターをコンセントに接続して電源を入れます。
3. BrightSign Device Setup 画面が ディスプレイに表示されます。

<BrightSign Device Setup>

BrightSign Device Setup では、画面のタッチ、キーボードによる入力を利用して設定を進めます。

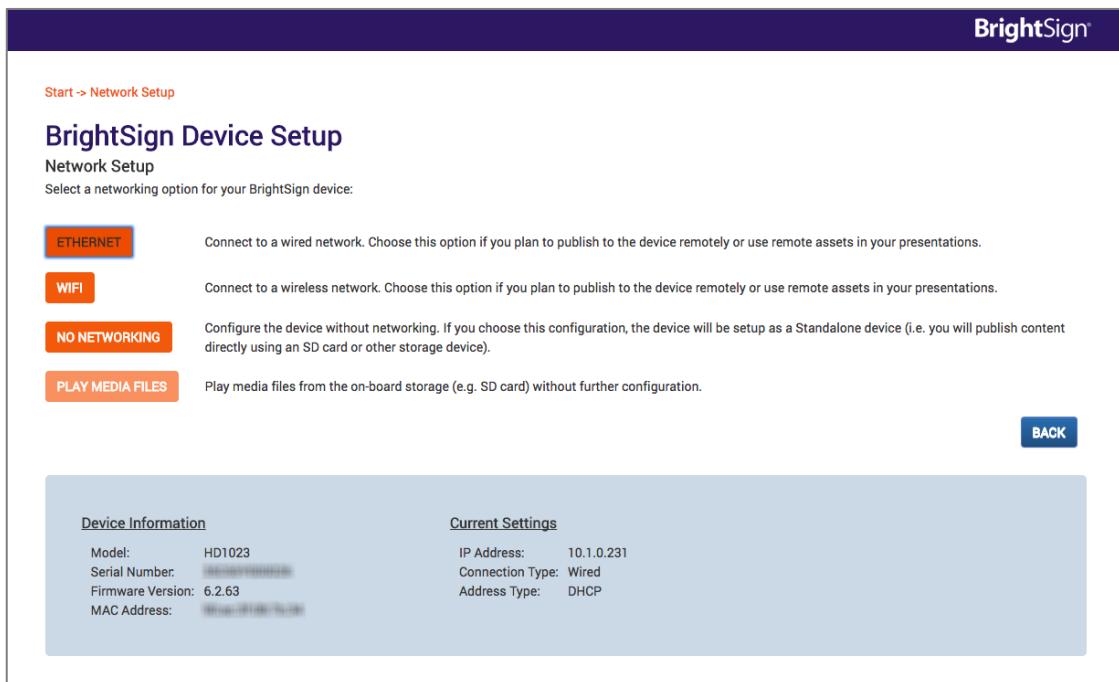


Device Setup 画面が表示されると 2 分間のカウントダウンを始めます。カウントダウンが終了すると **BrightSign** が再起動します。

STOP TIMER : カウントダウンを停止します。

NEXT : 次の設定に進みます。

<BrightSign Device Setup>



ネットワークへの接続方法を選択します。タッチして選択し、設定を進めます。

ETHERNET : 有線 LAN 接続を使用してプレゼンテーションの更新を行う場合に選択します。

⇒ **(1) Ethernet Settings (有線 LAN の設定)** に進みます。

WIFI : 無線 LAN 接続を使用してプレゼンテーションの更新を行う場合に選択します。

⇒ **(3) Wireless Setup (無線 LAN の設定)** に進みます。

NO NETWORKING : ネットワーク接続を使用しない場合に選択します。Micro SD カードの差し替えによってコンテンツの更新を行う場合に選択します。

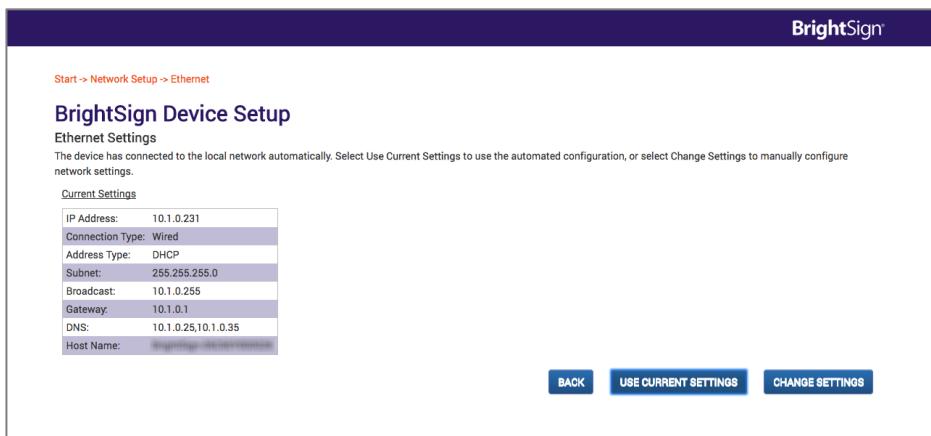
⇒ **(13) Standalone (スタンドアロンの設定)** に進みます。

PLAY MEDIA FILES : 選択すると Micro SD カード内にあるファイルを読み込み、表示を行います。

BrightAuthor による書き出しを行わず、動画や静止画などの素材を Micro SD カードに直接コピーして使用する場合に選択します。

BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

(1) Ethernet Settings (有線 LAN の設定)



有線 LAN の設定を行います。DHCP サーバーと接続可能な場合は、ネットワークに自動的に接続し、現在の設定が **Current Settings** に表示されます。

BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

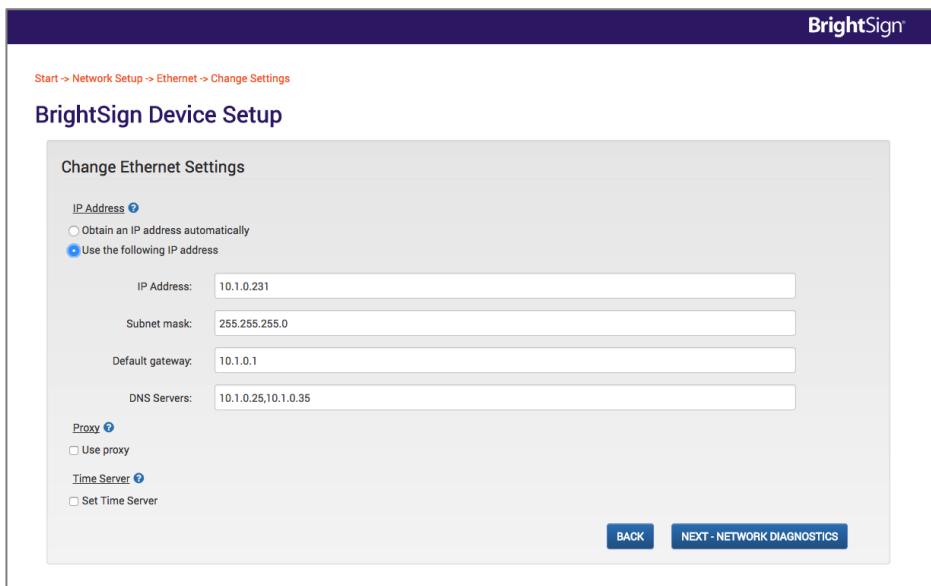
USE CURRENT SETTINGS : DHCP の設定を使用します。

⇒ (5) Network Diagnostics (ネットワークの診断) に進みます。

CHANGE SETTINGS : マニュアル設定する場合、または DHCP に接続できない場合に選択します。

⇒ (2) Change Ethernet Settings に進みます。

(2) Change Ethernet Settings (LAN 接続の変更)



ネットワークの設定をマニュアルで変更することができます。

IP Address

- Obtain an IP address automatically** : DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。
- Use the following IP address** : マニュアルで IP アドレスを設定します。チェックを入れて IP Address (IP アドレス)、Subnet mask (サブネットマスク)、Default gateway (デフォルトゲートウェイ)、DNS Servers (DNS サーバー) のアドレスを入力します。

Proxy

- Use proxy** : プロキシを使用する場合はチェックを入れます。
- Address** : プロキシのアドレスを入力します。プロキシのユーザー名とパスワードを入力する場合、<ユーザー名> : <パスワード> @ <プロキシサーバーのアドレス> の形式を使用します。
(例) admin : root@myproxy.com
- Port** : プロキシのポート番号を入力します。

Time Server

- Set Time Server** : タイムサーバーを変更する場合にチェックを入れます。
- URL** : タイムサーバーのアドレスを入力します。初期設定では BrightSign 社のタイムサーバーのアドレスが入力されています。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT-NETWORK DIADNOSTICS : 次の設定に進みます。

⇒ (5) **Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

(3) Wireless Setup (無線 LAN の設定)

The screenshot shows the BrightSign Device Setup - Wireless Setup interface. At the top, it says "Start > Network Setup > Setup WiFi". The main section is titled "BrightSign Device Setup" and "Wireless Setup". It has two input fields: "SSID:" containing "BrightSign" and "Security Key:" with the placeholder "Enter the wifi password for the selected SSID". Below the fields are three buttons: "BACK", "ADVANCED", and "NEXT - NETWORK DIAGNOSTICS" (which is highlighted in blue).

無線 LAN の設定を行います。

SSID：ドロップボックスから接続するワイヤレスネットワークの SSID を選択します。

Security Key：ワイヤレスネットワークのセキュリティキー（パスワード）を入力します。

BACK：ひとつ前の画面に戻ります。

ADVANCED：マニュアルで IP アドレス、プロキシサーバー、ホスト名等を設定します。

⇒ (4) **Advanced Wireless Setup (無線 LAN の詳細設定)** に進みます。

NEXT-NETWORK DIAGNOSTICS：IP アドレスを DHCP から自動取得する場合に選択します。

⇒ (5) **Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

(4) **Advanced Wireless Setup (無線 LAN の詳細設定)**

IP Address

- Obtain an IP address automatically** : DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。
- Use the following IP address** : マニュアルで IP アドレスを設定します。チェックを入れて、IP Address (IP アドレス)、Subnet mask (サブネットマスク)、Default gateway (デフォルトゲートウェイ)、DNS Servers (DNS サーバー) のアドレスを入力します。

Proxy

Address : プロキシのアドレスを入力します。プロキシのユーザー名とパスワードを入力する場合、<ユーザー名> : <パスワード> @ <プロキシサーバーのアドレス> の形式を使用します。
(例) admin : root@myproxy.com

Port : プロキシのポート番号を入力します。

Time Server

Set Time Server : タイムサーバーを変更する場合にチェックを入れます。

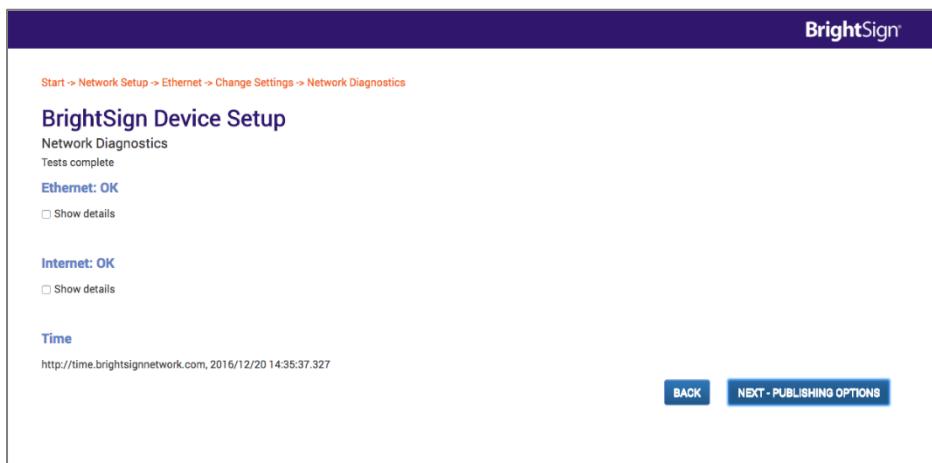
URL : タイムサーバーのアドレスを入力します。初期設定では BrightSign 社のタイムサーバーのアドレスが入力されています。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT-NETWORK DIAGNOSTICS : 次の設定に進みます。

⇒ (5) **Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

(5) Network Diagnostics (ネットワークの診断)



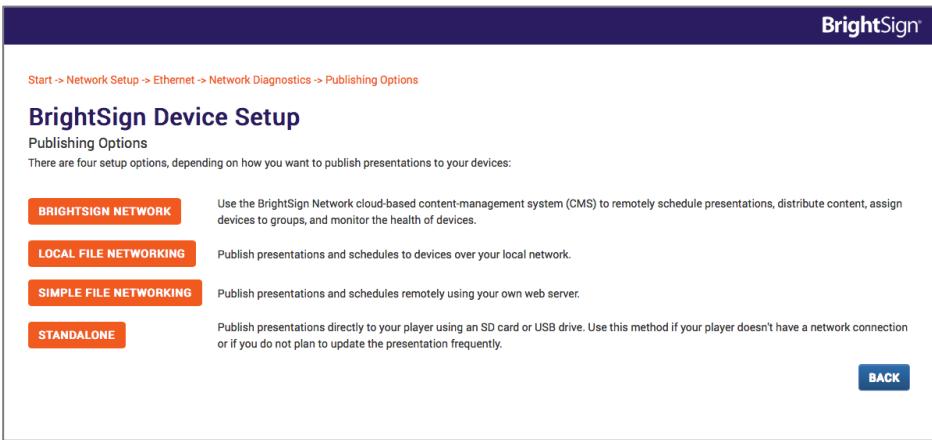
有線 LAN、または無線 LAN への接続テストを行います。接続に成功すると、続けてインターネットへの接続テストを行います。接続テストに成功した場合も失敗した場合も Show details にタッチするとテスト結果の詳細な情報を確認することができます。

NEXT-PUBLISHING OPTIONS : 接続に成功した場合はタッチして次の設定に進みます。

⇒ (6) Publishing Options (書き出しの設定) に進みます。

BACK : 接続に失敗した場合は BACK をタッチしてひとつ前の設定画面に戻り、設定を見直します。

(6) Publishing Options (書き出しの設定)



BrightSign の更新方法 (BrightSign への書き出し) に関する設定を行います。

BRIGHTSIGN NETWORK : 使用しません。

『BrightSignNetwork.jp』の接続設定には、**9-3 設定 ファイルによるセットアップ** を使用します。

(BrightSign Device setup で設定を行っても『BrightSignNetwork.jp』には接続できません。)

LOCAL FILE NETWORKING : PC から LAN 経由で更新する場合に選択します。

⇒ (7) Local File Networking (ローカルファイルネットワーキングの設定) に進みます。

SIMPLE FILE NETWORKING : Web フォルダ (サーバー) を利用して更新する場合に選択します。

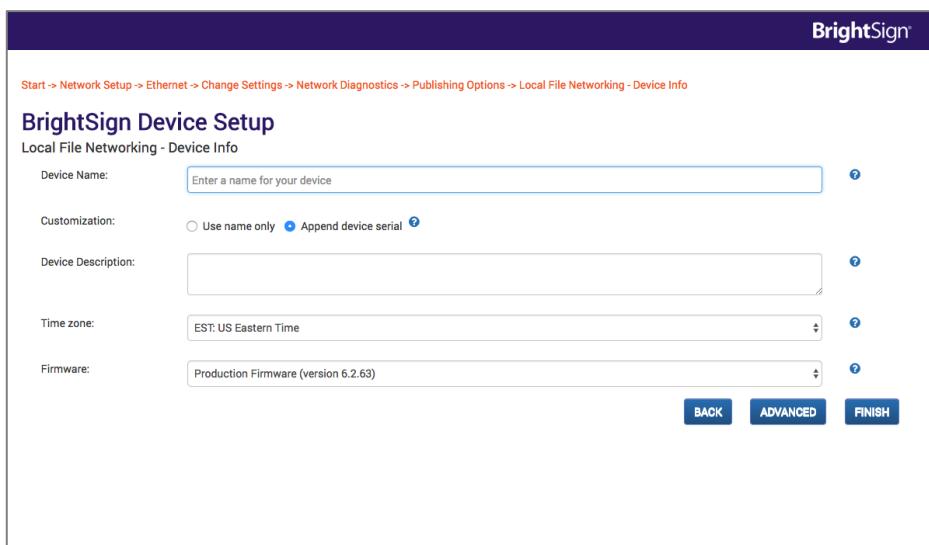
⇒ (10) Simple File Networking (シンプルファイルネットワーキングの設定) に進みます

STANDALONE : Micro SD カードや USB メモリーに 書き出しして更新する場合 (ネットワークを使用しない場合) に選択します。

⇒ (13) Standalone (スタンドアロンの設定) に進みます。

BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

(7) Local File Networking (ローカルファイルネットワーキングの設定)



Device Info

Device Name : 名前 (プレーヤー名) を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization : ○Append device serial を選択すると Device Name で設定したプレーヤー名の後にシリアル番号を表示します。○Use name only を選択すると名前のみ表示します。

Device Description : プレーヤーの設置場所などが分かるようにメモを入力することができます。

Time Zone : タイムゾーンを選択します。

Firmware : BrightSign OS のバージョンを選択する項目ですが、必ず Current Firmware (現在のファームウェア) を選択してください。

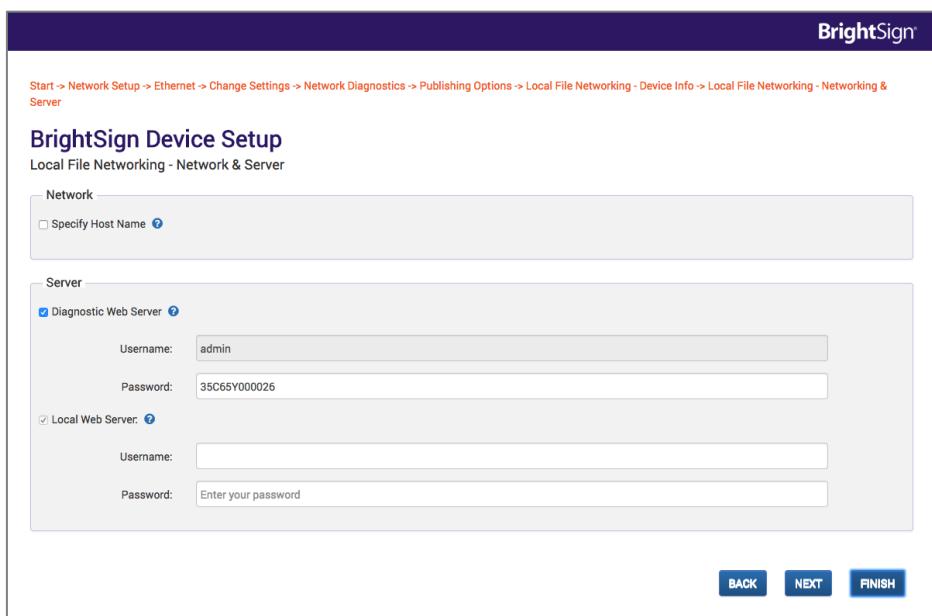
BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

ADVANCED : ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ (8) **NETWORK & SERVER** (ネットワークとサーバーの設定) へ進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(8) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)



ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network

Specify Host Name : チェックを入れホスト名を入力します。

Server

Diagnostic Web Server : チェックを入れるとダイアグノスティック Web サーバーの機能が有効になります。Web ブラウザーにプレーヤーに設定した IP アドレスを入力してアクセスすることで、再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などを実行できます。パスワードの設定も可能です。
(ユーザー名は「admin」で固定となります。)

Local Web Server : チェックを入れるとローカル Web サーバーの機能が有効になります。Web ブラウザー、または BrightSign App を使用してユーザー変数を変更することができます。ユーザー名、パスワードを設定して入力を求める事もできます。

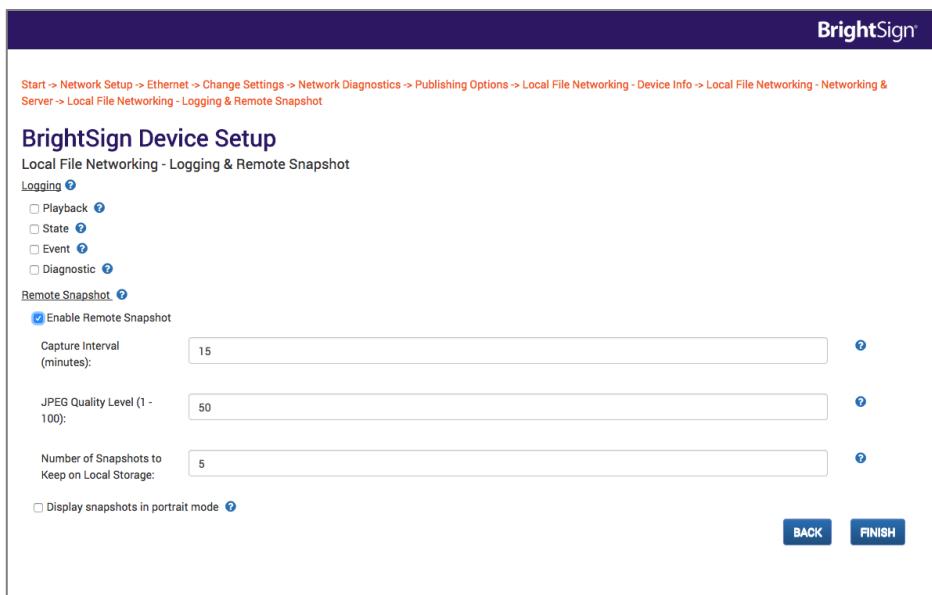
BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

NEXT : 次の設定に進みます。

⇒ **(9) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)** に進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(9) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)



ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging : チェックを入れるとログ機能を有効に、外すと無効にします。

Playback : 再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプを記録します。

State : タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータを記録します。

Event : 現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプを記録します。

Diagnostic : タイムスタンプ、ファームウェア、スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーションを記録します。

Remote Snapshot

Enable Remote Snapshot : リモートスナップショット機能を有効にします。保存したスナップショット（スクリーンショット）を遠隔でモニタリングすることができます。

Capture Interval (minutes) : スナップショットを保存する間隔を設定します。単位：分

JPEG Quality Level (1-100) : スナップショットの品質を設定します。

Number of Snapshots to Keep on Local Storage : スナップショットの保存数を設定します。

設定した数のスナップショットを保存すると古いものから削除し、新しいスナップショットを保存します。

Display snapshots in portrait mode: チェックを入れるとスナップショットをローテート(回転)させて保存します。

BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

FINISH : 設定を終了します。

(10) Simple File Networking (シンプルファイルネットワーキングの設定)

The screenshot shows the 'Simple File Networking - Device Info' configuration screen. At the top, there's a breadcrumb navigation: Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Simple File Networking - Device Info. The main section is titled 'BrightSign Device Setup' under 'Simple File Networking - Device Info'. It contains the following fields:

- Device Name:** A text input field with placeholder text 'Enter a name for your device'.
- Customization:** A radio button group where 'Append device serial' is selected (indicated by a blue circle).
- Device Description:** A text input field.
- Time zone:** A dropdown menu set to 'EST: US Eastern Time'.
- Firmware:** A dropdown menu set to 'Production Firmware (version 6.2.63)'.
- URL for web folder:** A text input field with placeholder text 'e.g., http://www.brightsign.com/files/'.

At the bottom right are three buttons: 'BACK', 'ADVANCED' (disabled), and 'FINISH'.

Device Info

Device Name : プレーヤーに名前（プレーヤー名）を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization : ○**Append device serial** を選択すると Device Name で設定したプレーヤー名の後ろにシリアル番号を表示します。○**Use name only** を選択すると名前のみ表示します。

Device Description : プレーヤーの設置場所などが分かるようにメモを入力することができます。

Time Zone : タイムゾーンを選択します。

Firmware : BrightSign OS のバージョンを選択する項目ですが、必ず **Current Firmware**（現在のファームウェア）を選択してください。

URL for web folder : プレーヤーをアクセスさせる Web サーバー（フォルダー）のアドレスを入力します。アドレスにはスラッシュ（/）を使用しないでください。Web サーバーの仕様によりアドレス末尾のスラッシュをサポートしない場合があります。

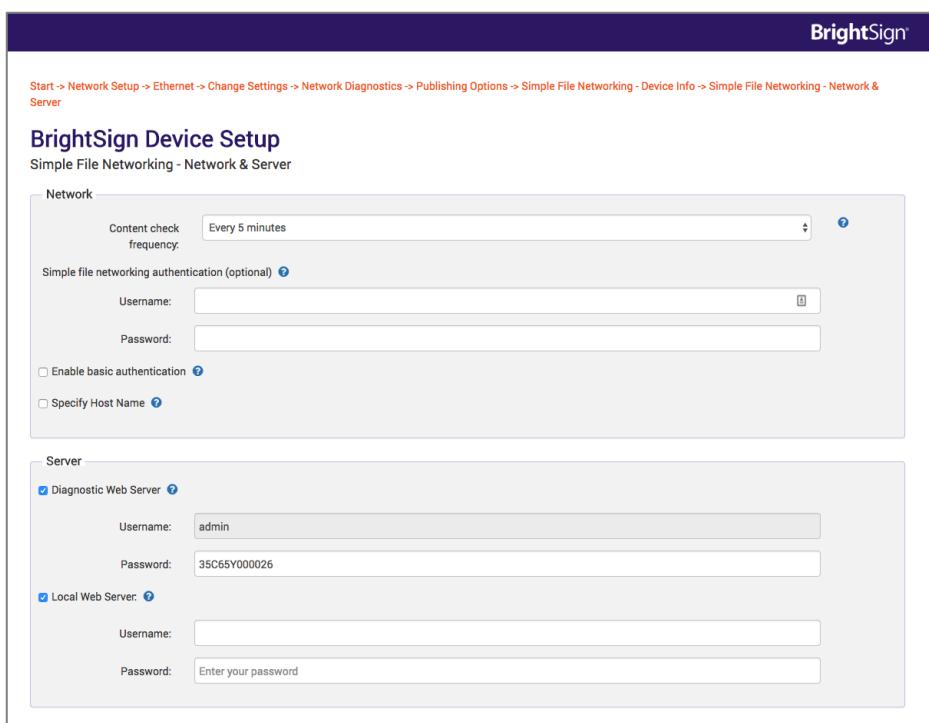
BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

ADVANCED : ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ **(11) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)** へ進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(11) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)



ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network

Content check frequency : Web サーバーにアクセスする頻度を設定します。

Simple File Networking Configuration : ダイジェスト認証を使用する場合は **User Name**、**Password** を入力します。

Enable Basic Authentication : ベーシック認証を有効にします。ベーシック認証を有効にするとセキュリティで保護されていないパケットで Web サーバーに認証情報を渡します。このオプションは Web サーバーの構成によって使用が必須になる場合のみ使用します。

Specify Host Name : ホスト名を指定することができます。

Server

- Diagnostic Web Server**: チェックを入れるとダイアグノスティック Web サーバーの機能が有効になります。Web ブラウザーにプレーヤーに設定した IP アドレスを入力してアクセスすることで、再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などを実行できます。パスワードの設定も可能です。(ユーザー名は「admin」で固定となります。)
- Local Web Server**: チェックを入れるとローカル Web サーバーの機能が有効になります。Web ブラウザー、または BrightSign App を使用してユーザー変数を変更することができます。ユーザー名、パスワードを設定して入力を求める事もできます。

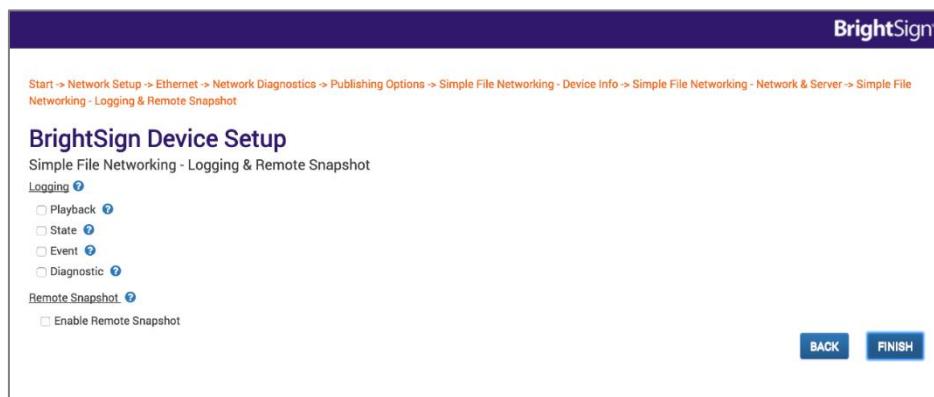
BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT : 次の設定に進みます。

⇒ (12) **LOGGING & REMOTE SNAPSHOT** (ログとリモートスナップショット) に進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(12) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)



ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging : チェックを入れるとログ機能を有効にし、外すと無効にします。

- Playback** : 再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプを記録します。
- State** : タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータを記録します。
- Event** : 現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプを記録します。
- Diagnostic** : タイムスタンプ、ファームウェア、スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーションを記録します。

Remote Snapshot

Enable Remote Snapshot : リモートスナップショット機能を有効にします。保存したスナップショット（スクリーンショット）を遠隔でモニタリングすることができます。

Capture Interval (minutes) : スナップショットを保存する間隔を設定します。単位：分

JPEG Quality Level (1-100) : スナップショットの品質を設定します。

Number of Snapshots to Keep on Local Storage : スナップショットの保存数を設定します。設定した数のスナップショットを保存すると古いものから削除し、新しいスナップショットを保存します。

Display snapshots in portrait mode: チェックを入れるとスナップショットをローテート(回転)させて保存します。

BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

FINISH : 設定を終了します。

(13) Standalone (スタンドアロンの設定)

Device Info

Device Name : プレーヤーに名前（プレーヤー名）を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization : **Append device serial** を選択すると Device Name で設定したプレーヤー名の後ろにシリアル番号を表示します。**Use name only** を選択すると名前のみ表示します。

Device Description : プレーヤーの設置場所などが分かるようにメモを入力することができます。

Time Zone : タイムゾーンを選択します。

Firmware : BrightSign OS のバージョンを選択する項目ですが、**必ず Current Firmware**（現在のファームウェア）**を選択してください。**

BACK : ひとつ前の項目に戻ります。

ADVANCED : ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ **(14) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)** に進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(14) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)

ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network

- Specify Host Name** : チェックを入れホスト名を入力します。
- Diagnostic Web Server** : チェックを入れるとダイアグノスティック Web サーバーの機能が有効になります。Web ブラウザーにプレーヤーに設定した IP アドレスを入力してアクセスすることで、再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などを実行できます。パスワードの設定も可能です。
(ユーザー名は「admin」で固定となります。)
- Local Web Server** : チェックを入れるとローカル Web サーバーの機能が有効になります。Web ブラウザー、または BrightSign App を使用してユーザー変数を変更することができます。ユーザー名、パスワードを設定して入力を求める事もできます。

BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

NEXT : 次の設定に進みます。

⇒ (15) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット) へ進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(15) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)

ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging : チェックを入れるとログ機能を有効に、外すと無効にします。

- Playback** : 再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプを記録します。
- State** : タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータを記録します。
- Event** : 現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプを記録します。
- Diagnostic** : タイムスタンプ、ファームウェア、スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーションを記録します。

Remote Snapshot

- Enable Remote Snapshot** : リモートスナップショット機能を有効にします。保存したスナップショット（スクリーンショット）を遠隔でモニタリングすることができます。

Capture Interval (minutes) : スナップショットを保存する間隔を設定します。単位：分

JPEG Quality Level (1-100) : スナップショットの品質を設定します。

Number of Snapshots to Keep on Local Storage : スナップショットの保存数を設定します。

設定した数のスナップショットを保存すると古いものから削除し、新しいスナップショットを保存します。

Display snapshots in portrait mode: チェックを入れるとスナップショットをローテート(回転)させて保存します。

BACK : ひとつ前の画面に戻ります。

FINISH : 設定を終了します。

8 OSD (ディスプレイ設定メニュー)

OSD (On Screen Display) では ディスプレイに関する設定を行うことができます。OSD は本機左側面にある MENU/EXIT ボタンを 4 回連続で押すと ディスプレイに表示されます。OSD 表示中 MENU/EXIT ボタンを 1 回押すと OSD 表示を終了します。OSD を非表示にした後、再度、OSD を表示する際は、非表示にした後、5 秒以上の時間をあける必要があります。

OSD を表示するとはじめに PICTURE メニューが表示されます。VOL-/VOL+ボタンを押してメニューを切り替えます。本機で使用するのは PICTURE メニュー、OPTION メニューのみです。Channel、及び Applications は使用しません。

8-1 PICTURE メニュー

ディスプレイの表示に関する設定を行います。UP/DOWN ボタンを押して設定を変更する項目を選択し、SELECT ボタンを押して決定します。MENU/EXIT ボタンを押すと項目を選択する画面に戻ります。

Picture Mode

画面の明るさ、コントラストなどがプリセットされています。VOL-/VOL+ボタンを押して選択します。
【User (初期設定) ⇄ Vivid ⇄ Standard ⇄ Soft】から選択することができます。

User の設定値は変更することができます。UP/DOWN ボタンを押して設定を変更する項目を選び、VOL-/VOL+ボタンを押して数値を増減させます。数値の変更操作をしない状態が続くと数値の変更を受け付けなくなります。変更を受け付けない場合は、一度、OSD を終了し、再度 OSD を表示して設定を行います。

Contrast	コントラストを調整します。極端な数値に設定した場合、白飛び、黒つぶれが生じます。【設定範囲：0～100】【User 初期値：75】
Brightness	明るさを調整します。極端な数値に設定した場合、白飛び、黒つぶれが生じます。【設定範囲：0～100】【User 初期値：49】
Color	色の濃淡を調整します。0に設定するとモノクロのような表示になります。【設定範囲：0～100】【User 初期値：45】
Sharpness	数値を高くする程、輪郭を強調しますがジャギーの目立つ表示になります。【設定範囲：0～100】【User 初期値：1】

※Tint（色合い）の値は変更することができません。

Color Temperature

色温度を変更します。VOL-/VOL+ボタンを押して選択します。

【User（初期設定） ⇄ Cool ⇄ Medium ⇄ Warm】から選択することができます。

User の設定値は変更することができます。Red/Green/Blue の各カラーを UP/DOWN ボタンで選択し、VOL-/VOL+ボタンを押して数値を増減させます。数値を大きくすると色を強調し、小さくすると弱めます。数値の変更操作をしない状態が続くと数値の変更を受け付けなくなります。変更を受け付けない場合は、一度、OSD の表示を終了してから再度 OSD を表示し、設定を行います。

【設定範囲：0～100】【User 初期値：50】

Backlight

バックライトの明るさを調整します。VOL-/VOL+ボタンを押して数値を増減させます。数値を 0 にしてもバックライトは消灯にはなりません。【設定範囲：0～100】【初期値：100】

8-2 OPTION メニュー

OPTION メニューでは OSD の言語の選択（日本語表示は非対応）、OSD 設定の初期化が可能です。HDMI CEC は使用しません。メニューを開くことができますが、設定を変更しないでください。

OSD Language

OSD の表示言語を変更することができますが、日本語表示には対応しません。初期設定の English 以外に設定した場合はサポート外です。

Restore Factory Default

OSD 設定の初期化を行います。初期化されるのは OSD の設定のみで BrightSign は初期化されません。SELECT を押して選択した後、VOL-を押すと初期化を実行し、VOL+を押すと初期化をキャンセルします。

9 製品仕様

製品名	Bluefin10.1 インチタッチディスプレイ	Bluefin15.6 インチタッチディスプレイ
型番	BS/BF10WT	BS/BF15WT
JAN コード	4522686008119	4522686008126
インチ数	10.1 インチ (アスペクト比 16 : 10)	15.6 インチ (アスペクト比 16 : 9)
最大輝度	450 nits	300 nits
バックライト	LCD	LCD
解像度	1280 x 800	1920 x 1080
最大輝度	450 nits	300 nits
視野角 (垂直/水平)	89/89/89/89	89/89/89/89
方式	静電容量方式	静電容量方式
コントラスト	900CR	700CR
内蔵スピーカー	3W (1.5W x2)	3W (1.5W x2)
接続端子		
WiFi	WiFi Beacon アンテナ	WiFi Beacon アンテナ
オーディオ	3.5mm アナログ出力	3.5mm アナログ出力
イーサネット	x 1	x 1
Micro SD カードスロット	x 1	x 1
USB	x 2	x 2
ステータスランプ	Error、Power、Busy	Error、Power、Busy
AC アダプター	12V	12V
GPIO	Phoenix 端子 (6-pin)	Phoenix 端子 (6-pin)
シリアルポート	3.5mm RS-232	3.5mm RS-232
IR	3.5mm IR In/Out	3.5mm IR In/Out
ローカルストレージ		
Micro SD	SDHC、SDXC Class10 位上推奨	
マウント		
VESA 準拠	M4 x 0.8、100mm x 100mm	M4 x 0.8、75mm x 75mm
環境		
動作環境温度	0~40°C	0~40°C
動作環境湿度	10~85% (結露なきこと)	10~85% (結露なきこと)
保管環境温度	-10~55°C	-10~55°C
保管環境湿度	0~85% (結露なきこと)	0~85% (結露なきこと)

筐体		
外形寸法	249.96mm x 168.6mm x 39.7mm	378.23mm x 237.94mm x 41.6mm
重量	1.8Kg	3.2Kg
その他		
付属品	AC アダプター	AC アダプター
保証期間	ご購入から 1 年	ご購入から 1 年
機能一覧		
H.264/H.265 1080p60 ビデオファイルの再生、HTML5、IPストリーミング、BrightBeacon、同期再生（BrightWall）、B-Deploy、モザイクモード、ゾーン機能、タッチパネル、ライブフィード、GPS 対応、タグ付け、BrightSign App、Sign Preview、リモートスナップショット、Bright Plates、ネットワーク更新		